高座清掃施設組合議会会議録

令和7年第1回臨時会

令和7年6月24日

議 事 日 程

令和7年6月24日

日程	議案番号	件 名
1		会期の決定について
2		会議録署名議員の指名について
3		議席の指定について
4		副議長の選挙について
5	報告第1号	継続費繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事ほか1件）
6	報告第2号	繰越明許費繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託ほか1件）
7	報告第3号	事故繰越し繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託）
8	議案第7号	高座清掃施設組合一般職の職員の育児休業等に関する条例及び高座清掃施設組合一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
9	議案第8号	高座清掃施設組合本郷ふれあい公園に関する条例の一部改正について
10	議案第9号	高座清掃施設組合監査委員の選任につき同意を求めることについて
11	議案第10号	令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）

高座清掃施設組合議会第1回臨時会会議録

令和7年6月24日（火）午後3時10分、高座清掃施設組合議会第1回臨時会を高座クリーンセンター環境プラザ大会議室に招集した。

1 出席議員 15名

熊切和人 議員	京免康彦 議員
古郡敏正 議員	加藤学 議員
野田広吉 議員	戸澤幸雄 議員
金江大志 議員	倉橋正美 議員
上田博之 議員	宇田川希 議員
齊藤慶吾 議員	鈴木さよ子 議員
守谷浩一 議員	大塚真樹 議員
松橋淳郎 議員	

2 欠席議員 なし

3 付議事件

日程8 議案第7号 高座清掃施設組合一般職の職員の育児休業等に関する条例及び高座清掃施設組合一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

日程9 議案第8号 高座清掃施設組合本郷ふれあい公園に関する条例の一部改正について

日程10 議案第9号 高座清掃施設組合監査委員の選任につき同意を求めることについて

日程11 議案第10号 令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）

4 説明のため出席した者 13名

組 合 長	内 野 優	副 組 合 長	佐 藤 弥 斗
副 組 合 長	橘 川 佳 彦	事 務 局 長	小 川 隆 太
次長兼総務課長	菊 地 康 之	会 計 管 理 者	押 方 信 一 郎
参 事	平 本 和 彦	参 事	武 石 昌 明
施設課管理担当課長	藤 本 勝 雄	施設課長事務代理	増 田 大 征
総務課長補佐	杉 田 徹	施設課主幹	古 郡 哲 也
施設課主幹	鴨志田 克 巳		

5 出席した事務局職員 8名

施設課管理係長	植 田 哲	施設課業務係長	大 森 博 文
総務課総務係長	山 田 健 太	総務課副主幹	鈴 木 茂
総務課主査	丸 岡 太	総務課主査	神 部 晃
総務課主査	三 浦 敏 正	事務専門員	柳 田 信 英

6 傍聴者 13名

7 会議の状況 (午後3時10分 開会)

◎議長（熊切和人議員） ただいまの出席議員は全員であります。定足数に達し、会議は成立いたしましたので、これより令和7年第1回高座清掃施設組合議会臨時会を開会いたします。

本臨時会開会に当たり、組合長より招集のご挨拶をお願いいたします。組合長。

【 組合長（内野 優）登壇 】

◎組合長（内野 優） 令和7年第1回議会臨時会招集に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、本臨時会にご参集いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、平成5年6月に開館し、今年で32年目を迎えました屋内温水プールであります。令和7年4月20日に来場者が400万人を達成したことから、5月25日

には400万人目となられたお客様をお招きし、来場者400万人達成イベントを開催いたしました。当日は、日頃の感謝の気持ちを込めて様々なイベントが行われ、多くの市民の方が来場されました。今後もこうしたイベントを開催し、組合が管理する施設や業務を広く周知し、当施設を多くの方に活用していただきたいと考えております。

さて、本日ご提案申し上げます案件は、報告3件、議案4件でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。招集の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

【 組合長（内野 優）降壇 】

◎議長（熊切和人議員） 会議に先立ち報告いたします。例月出納検査及び定期監査の結果につきましては、お手元に配付のとおりでありますのでご了承願います。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

これより日程に入ります。

日程第1 会期の決定についてを議題といたします。お諮りいたします。本臨時会の会期を本日1日といたしたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は本日1日と決しました。

次に、日程第2 会議録署名議員の指名についてでございます。会議規則第99条の規定により、議長において、野田広吉議員、守谷浩一議員を指名いたします。

次に、日程第3 議席の指定についてでございます。議席の指定については、会議規則第3条第2項の規定により、議長において指名いたします。2番古郡敏正議員、3番野田広吉議員、4番金江大志議員、5番上田博之議員、6番齊藤慶吾議員。以上でございます。

次に、日程第4 副議長の選挙を行います。お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選といたしたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選とすることに決しました。お諮りいたします。指名の方法については議長において指名することといたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、議長において指名することと決しました。

副議長に齊藤慶吾議員を指名いたします。お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました齊藤慶吾議員を副議長の当選人と定めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、齊藤慶吾議員が副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました齊藤慶吾議員が議場におられますので、本席から会議規則第26条による当選の告知をいたします。

それでは、副議長に当選されました齊藤慶吾議員に就任のご挨拶をお願いいたします。

【 副議長（齊藤慶吾議員）登壇 】

◎副議長（齊藤慶吾議員） ただいま議長よりご指名いただき、副議長の栄職に着かせていただくことになり、身に余る光栄に存じます。ぜひ議員皆様方のご支援をいただきまして、議長の補佐役として一生懸命努力する所存でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

【 副議長（齊藤慶吾議員）降壇 】

◎議長（熊切和人議員） 次に、組合長より本臨時会に上程される諸議案の一括説明を求めます。組合長。

【 組合長（内野 優）登壇 】

◎組合長（内野 優） それでは、本日ご提案申し上げます案件につきまして、一括してご説明申し上げます。

初めに、日程第5 報告第1号 継続費繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事ほか1件）は、令和6年度高座清掃施設組合一般会計予算において設定した継続費について、繰越計算書を調製いたしましたので、地方自治法施

行令第145条第1項の規定により報告するものでございます。詳細につきましては次長から説明いたします。

次に、日程第6 報告第2号 繰越明許費繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託ほか1件）でございますが、令和6年度高座清掃施設組合一般会計予算において設定した繰越明許費について、繰越計算書を調製いたしましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告するものでございます。詳細につきましては次長から説明いたします。

次に、日程第7 報告第3号 事故繰越し繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託）は、令和6年度高座清掃施設組合一般会計予算において設定した事故繰越しについて、繰越計算書を調製いたしましたので、地方自治法施行令第150条第3項の規定により報告するものでございます。詳細につきましては次長から説明いたします。

次に、日程第8 議案第7号 高座清掃施設組合一般職の職員の育児休業等に関する条例及び高座清掃施設組合一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正につきましては、地方自治法の育児休業等に関する法律の改正に鑑み、部分休業制度及び子育て部分休暇制度の拡充を図りたいものでございます。詳細につきましては事務局長から説明いたします。

次に、日程第9 議案第8号 高座清掃施設組合本郷ふれあい公園に関する条例の一部改正につきましては、高座清掃施設組合本郷ふれあい公園の管理に指定管理者制度を導入したいものでございます。詳細につきましては事務局長から説明いたします。

次に、日程第10 議案第9号 高座清掃施設組合監査委員の選任につき同意を求めることにつきましては、詳細につきましては後ほどご説明申し上げます。

次に、日程第11 議案第10号 令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）につきましては、本件につきましては歳出予算の補正及び継続費の補正をしたいものでございます。詳細につきましては次長から説明いたします。以上、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。一括説明を終わります。よろしくようお願い申し上げます。

【 組合長（内野 優）降壇 】

◎議長（熊切和人議員） 組合長の説明が終わりました。それでは初めに、日程

第5 報告第1号 継続費繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事ほか1件）を議題といたします。次長の説明を求めます。次長。

◎次長兼総務課長（菊地康之） それでは、報告第1号 継続費繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事ほか1件）につきまして、地方自治法施行令第145条第1項の規定によりご報告いたします。

議案書の1ページ、2ページをお開きいただきたいと存じます。2ページが令和6年度高座清掃施設組合継続費繰越計算書でございます。

4款衛生費1項清掃費、事業名、第二清掃処理場等解体撤去工事及び5款土木費1項都市計画費、事業名、本郷ふれあい公園（第二工区）整備工事でございます。金額等につきまして一括してご説明申し上げますので、継続費繰越計算書の最下段、合計欄をご覧いただきたいと存じます。継続費の総額は40億6,444万5,000円で、このうち令和6年度の予算現額は、予算計上額9億8,096万9,000円、前年度通次繰越額7億1,782万900円の計16億9,878万9,900円。このうち支出済額及び支出見込額は6億1,788万4,800円で、残額10億8,090万5,100円を翌年度に通次繰越しをするものでございます。財源内訳は、繰越金が6,472万8,100円、特定財源は、国県支出金2億4,527万7,000円、地方債7億7,090万円でございます。以上、大変雑駁な説明ではございますが、報告を終わります。

◎議長（熊切和人議員） 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 質疑もないようですので、質疑を終結いたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 報告第1号は、地方自治法施行令の規定による報告でありますのでご了承願います。

次に、日程第6 報告第2号 繰越明許費繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託ほか1件）を議題といたします。次長の説明を求めます。次長。

◎次長兼総務課長（菊地康之） それでは、報告第2号 繰越明許費繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託ほか1件）につつま

して、地方自治法施行令第146条第2項の規定によりご報告いたします。

議案書の3ページ、4ページをお開きいただきたいと存じます。4ページが令和6年度高座清掃施設組合繰越明許費繰越計算書でございます。

4款衛生費1項清掃費、事業名、第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託及び5款土木費1項都市計画費、事業名、本郷ふれあい公園（第二工区）整備工事施工監理業務委託でございます。金額等につきまして一括してご説明申し上げます。繰越明許費繰越計算書の最下段、合計欄をご覧くださいと存じます。金額は2,339万7,000円で、このうち翌年度繰越額は1,151万7,000円。財源内訳は、既収入特定財源で700万円、地方債260万円、一般財源191万7,000円でございます。以上、大変雑駁な説明ではございますが、報告を終わります。

◎議長（熊切和人議員） 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 質疑もないようですので、質疑を終結いたしたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 報告第2号は、地方自治法施行令の規定による報告でありますのでご了承願います。

次に、日程第7 報告第3号 事故繰越し繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託）を議題といたします。次長の説明を求めます。次長。

◎次長兼総務課長（菊地康之） それでは、報告第3号 事故繰越し繰越計算書について（第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託）につきまして、地方自治法施行令第150条第3項の規定により報告をいたします。

議案書の5ページ、6ページをお開きいただきたいと存じます。6ページが令和6年度高座清掃施設組合事故繰越し繰越計算書でございます。

4款衛生費1項清掃費、事業名、第二清掃処理場等解体撤去工事施工監理業務委託でございます。事故繰越し繰越計算書の最下段、合計欄をご覧くださいと存じます。支出負担行為額は816万9,700円、このうち支出済額が521万4,000円、支出未済額が295万5,700円で、翌年度繰越額が295万5,700円とするものでご

ございます。財源内訳は、既収入特定財源で230万円、未収入特定財源は組合債で10万円、一般財源で55万5,700円でございます。以上、大変雑駁な説明ではございますが、報告を終わります。

◎議長（熊切和人議員） 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 質疑もないようですので、質疑を終結いたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 報告第3号は、地方自治法施行令の規定による報告でありますのでご了承願います。

次に、日程第8 議案第7号 高座清掃施設組合一般職の職員の育児休業等に関する条例及び高座清掃施設組合一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正についてを議題といたします。事務局長の説明を求めます。事務局長。

◎事務局長（小川隆太） それでは、日程第8 議案第7号 高座清掃施設組合一般職の職員の育児休業等に関する条例及び高座清掃施設組合一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正についてご説明申し上げます。

議案書の7ページをお開きいただきたいと存じます。提案理由につきましては、先ほど組合長より申し上げたとおりでございます。

本案は2本の条例改正となっております。第1条は高座清掃施設組合一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部改正でございます。現行制度では、育児休業に伴う部分休業の取得は、1日につき2時間を超えない範囲内での取得とされておりますが、これに加え、1年につき10日相当を超えない範囲内の形態を新たに設け、職員がいずれかの形態を選択できるようにするものでございます。

議案書の8ページをご覧ください。条例第23条は部分休業について規定しておりますが、現行の「部分休業」を「第1号部分休業」に改め、第23条の次に新たに4条を加えるものでございます。

第23条の2は、第2号部分休業の承認を定めるものでございます。

第23条の3は、育児休業法第19条第2項の条例で定める1年の期間を定めるも

のでございます。

第23条の4は、育児休業法第19条第2項第2号の人事院規則で定める時間を基準として条例で定める時間を定めるものでございます。第1号は、非常勤職員以外の職員を77時間30分、第2号は、非常勤職員の勤務日1日当たりの勤務時間数に10を乗じて得た時間について、それぞれ10日相当の範囲を規定しております。

第23条の5は、育児休業法第19条第3項の条例で定める特別の事情を定めるものでございます。

次の第2条は、高座清掃施設組合一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正で、部分休暇制度の拡充に併せ、海老名市に沿って実施している子育て部分休暇制度も同様の拡充を行いたいものでございます。また、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置として、育児に関する制度の利用を申し出た職員に対して個別の周知や意向確認を実施することを規定し、制度運用を明確にするものでございます。

それでは、議案書の10ページをご覧くださいと存じます。条例第16条の3は、子育て部分休暇について規定しておりますが、第1項の部分休業と同様に、勤務しないことが相当であると認められる場合の1日の勤務時間の「一部」を「全部又は一部」に改め、第16条の3に新たに3項を加えるものでございます。第2項は、子育て部分休暇の選択できる範囲について、第3項は、申出の内容の変更について、第4項は、休暇の承認の請求について規定しております。

次に、第18条の次に次の1条を加える改正規定は、妊娠、出産等についての申出をした職員等に対する意向確認等を定めるものでございます。

第18条の2第1項は、妊娠または出産等の申出をした職員に対する措置について、第2項は、3歳に満たない子を養育する職員に対する措置について、第3項は、職員の意向の配慮について規定しております。

その他につきましては、引用条文の改正、軽易な字句の改正等でございます。

附則でございます。第1項は、施行期日を令和7年10月1日とし、附則第3項の規定は同年7月1日から、附則第4項の規定は公布の日から施行したいものでございます。

第2項から第4項までは経過措置を規定しております。第2項は、この条例の施行の日から令和8年3月31日までの間における第2号部分休業を請求する場合

において、請求できる時間を規定しております。第3項は、子育て部分休暇の承認の請求について、第4項は、3歳に満たない子を養育する職員に対する措置について、それぞれ施行期日前においても行うことができる旨を規定しております。以上、大変雑駁な説明でございますが、よろしくご審議いただき、ご決定賜りますようお願い申し上げます、説明を終わります。

◎議長（熊切和人議員） 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 質疑もないようですので、質疑を終結いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。初めに、反対意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 次に、賛成意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。本案を原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

◎議長（熊切和人議員） 挙手全員であります。よって、議案第7号 高座清掃施設組合一般職の職員の育児休業等に関する条例及び高座清掃施設組合一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正については原案のとおり可決されました。

次に、日程第9 議案第8号 高度清掃施設組合本郷ふれあい公園に関する条例の一部改正についてを議題といたします。事務局長の説明を求めます。事務局長。

◎事務局長（小川隆太） それでは、日程第9 議案第8号 高座清掃施設組合本郷ふれあい公園に関する条例の一部改正についてご説明申し上げます。

議案書の13ページをご覧くださいと存じます。提案理由につきましては、先ほど組合長が申し上げたとおりでございます。

主な内容でございますが、令和8年4月、本郷ふれあい公園第二工区竣工に合わせて令和元年4月に供用開始となった第一工区を併せて、本郷ふれあい公園全体の管理について指定管理者制度を導入したいことから、指定管理者の業務範囲、管理基準、指定手続等、条例に必要な規定を追加する一部改正をするものでございます。

それでは、主な改正内容につきましてご説明申し上げます。議案書の14ページをご覧くださいと存じます。条例第2条は、本郷ふれあい公園第二工区を合わせて全体の面積を3万9,881.13㎡に改めるほか、軽易な字句の修正でございます。

条例第5条の改正は、指定管理者制度の導入に伴い、行為の制限について、指定管理者の承認を受けた場合、組合長の許可に代えるものでございます。

条例第24条から第28条までの規定は、指定管理者に管理を行わせるに当たっての業務範囲、自主事業及び運営管理基準を組合長が規定するものでございます。

条例第29条から第34条までの規定は、指定管理者が施設の利用承認、不承認及び承認の取消しを行えるものとする。第7条で規定した利用の禁止及び制限規定を指定管理者に準用するものでございます。また、指定管理者は、利用者から別表に定める利用料金を徴収することができることとするものでございます。

条例第35条の規定は、組合長が運営管理を行う必要が生じた場合に、指定管理者から運営管理を代わって行えるものとした規定でございます。

条例第36条から第39条までの規定は、指定管理者の公募、申請、選定方法及びその基準を定め、申請者へ選定結果の通知を行うものとするものでございます。

条例第40条から第42条までの規定は、候補者の指定管理者の指定に当たっては、議会の議決を要し、その後、公示することとし、指定管理者と締結する協定書に定めるべき事項を定めたものでございます。

条例第43条から第45条までの規定は、指定管理者となった事業者には課す事業報告書の作成、提出、また事業者の施設管理の状況及び経理状況を必要に応じて報告を求めることができるものとし、指定の取消し等について規定しております。

最後に、条例第46条から第48条までの規定は、指定管理者が指定期間を満了と

なった場合には、原状回復の義務を負うこと、指定管理者及び公園の利用者が損害賠償の義務を負うこと、関係者の個人情報の保護に必要な措置を取らなければならないことを規定しております。

附則でございますが、施行期日は令和8年4月1日とし、附則第2項は、指定管理者制度の導入に当たって準備行為を行えるものとし、附則第3項は、指定管理者制度移行前の許可について、指定管理者選定後も承認が継続されることを規定しております。以上、大変雑駁な説明でございますが、よろしくご審議いただき、ご決定賜りますようお願い申し上げます、説明とさせていただきます。

◎議長（熊切和人議員） 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。上田博之議員。

◎（上田博之議員） 2点お伺いいたします。この条例改正は、公園の管理を指定管理者に委ねるための改正点が主なものだと思いますけれども、まず利用料金の扱いについてお伺いをいたします。第34条において、この利用料金は、指定管理者が徴収し、指定管理者の収入として収受されるものとなっております。そこで確認をしたいわけですが、利用料金が定められている別表を見ると、「公園を占有する場合」というのと「第5条第1項各号に掲げる行為をする場合」というふうに分けられておまして、公園を占有する場合としては、電柱1本年1,780円とか、電話柱1本年1,610円、標識1基年1,980円、また、水道管とかガス管などに1m月820円などなど、公共的な設置物に対する料金が決められています。その一方で、第5条第1項各号に掲げる行為をする場合というものでは、露天商とか行商などでは1件1日250円とか、競技会、展示会などは1㎡当たり1日10円、業として写真を撮影する場合には写真機1台1日500円、業として映画を撮影する場合には1回1日5,000円とかになっております。

この場合、まず公共的なもの、電信柱とかそういったものですね、公園を占有する場合としているこちらの料金については、指定管理者が徴収するものではなくて組合が徴収するものなのかどうか、その辺の収入がどちらのものになるのかということを確認にしたいので、確認をさせていただきということです。

それでまた、露天商などの第5条第1項各号の行為に当たるような場合のほうですけれども、こちらのほうで公園がどのように利用されるのかというイメージ的なもので収入などを皮算用しているのであれば、その辺の見通しといいます

か、現在での感触というものを教えていただけたらと思いますので、よろしくお願いたします。

2点目ですけれども、指定管理者に関わって確認しておきたい点ですけれども、組合には指定管理者制度運用ガイドラインがありますでしょうかということを確認させてください。なければ、ぜひ作っていただきたいと思います。

また、指定管理者による運用を評価するかフィードバックするということが、組合ではどのように行われているのか教えていただきたいと思います。今回の条例改正の中にも入っている部分があると思いますけれども、例えば日常的なレベルでのモニタリングの結果、自己点検とか利用者アンケートとかですね。また、2番目としては組合によるモニタリングとして定期とか随時の報告等に基づく指示、3番目には組合による毎年度の評価、事業報告書に基づく評価などいろいろあると思いますけれども、こうしたものをどう行っているのかを確認させていただきたいと思います。

その中で、社会保険労務士による労働条件審査などのチェックも欠かせないということを以前ご指摘させていただいたことがあるかと思いますが、その運用の現状についても教えていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

◎議長（熊切和人議員） 総務課長補佐。

◎総務課長補佐（杉田 徹） 私からは、前半の公園の利用料金の形態についてのご質問にご回答させていただきます。

まず、通常の維持管理に関する電柱等の設置に関する行政財産使用料については組合収入ということで、別表の表でいいますと、公園を占有する場合というところが該当に当たります。それ以外のことに関して、別表の下にあります第5条第1項各号に掲げる行為をする場合、例えば露天商等、業として映画を撮影すること等に関しては、これは利用者がイベント等を実施することでありまして、これに関しては指定管理者の収入となります。

それと公共的な設置物からの利用料金の皮算用という内容ですけれども、こちらについては皮算用はしておりません。以上です。

◎議長（熊切和人議員） 施設課長事務代理。

◎施設課長事務代理（増田大征） 2点目の指定管理の運用についてお答えさせていただきます。

現在、組合に指定管理者制度の運用ガイドラインというのはございません。ただし、海老名市の手引を参考にさせていただいているところではございます。

指定管理者の運営に対する評価といたしましては、まず日常的なモニタリングを指定管理者自らが実施し、その結果を月次報告書として報告させています。次いで、組合が月次報告書を基にモニタリングを実施し、運営状況を確認。さらに、月次報告書を基に月に1度報告会を実施し、情報のすり合わせを行います。また、重要な機器トラブルや事故、事件などは随時連絡を行うこととしており、組合も都度対応を行っている状況にあります。これらの対応を毎月実施し、指定管理者は、1年間を取りまとめた年次報告書を作成、組合と年次報告会を実施し、年度の総括を行っております。

なお、社会保険労務士による労働条件審査につきましては、指定管理期間中2回実施しているところでございます。以上です。

◎議長（熊切和人議員） 上田博之議員。

◎（上田博之議員） ありがとうございます。占有物については組合収入だということがありました。公共的なものですね。この場合、これは念のための確認ですけれども、これは指定管理者が集金をして組合に収めるのではなくて、組合が直接集金するものであると思うんですけれども、その点の確認をさせていただきますということと、あと、この利用料金について、公共物の収入の皮算用はしていないというご答弁がありましたけれども、私が質疑したのは、露天商などのほうをどのくらい見積もっているのかなというところをお聞きしたので、そちらのほうについても皮算用していないというご答弁かもしれませんが、念のために確認をさせていただきます。

それであと、指定管理者の評価などについては、いろいろなシステムはそれなりにつくられているなということが確認できましたので、これで結構です。よろしく申し上げます。

◎議長（熊切和人議員） 総務課長補佐。

◎総務課長補佐（杉田 徹） 料金の徴収に関しましては、組合側が徴収しております。

◎議長（熊切和人議員） 事務局長。

◎事務局長（小川隆太） 露天商等の部分でございますけれども、いわゆる皮算

用はまだ現在しておりませんが、今後、フルオープンするという中で指定管理者に管理等を委ねる中で、またにぎわいの創出等が必要になってくると思います。そのときに、利用状況、利用人数によって、例えば土日なんかにはキッチンカーを配置したりとか、そういったところでそういう部分も出てくるのかなと思いますけれども、それについては指定管理の自主事業でやるのか等もありますので、そちらも算出化していないんですけれども、そういったところでの利用も考えられるのかなというふうに考えているところでございます。

◎議長（熊切和人議員） 上田博之議員。

◎（上田博之議員） その辺は分かりました。それで、その利用料金ですけども、いわゆる本郷地域の方とか地元の方が地元のイベントとして利用するよくなときの利用料金はどのように考えているのか確認させてください。

◎議長（熊切和人議員） 事務局長。

◎事務局長（小川隆太） 今現在、その地元の方の利用について、どのような利用があって、どういう利用料金でいこうということは具体的には決まっておられませんので、今後、イベント等を開催するというお話があったときに照らし合わせまして、検討していきたいというふうに考えてございます。以上です。

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑もないようですので、質疑を終結いたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。初めに、反対意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 次に、賛成意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。本案を原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

◎議長（熊切和人議員） 挙手全員であります。よって、議案第8号 高座清掃施設組合本郷ふれあい公園に関する条例の一部改正については原案のとおり可決されました。

【金江大志議員 退席】

◎議長（熊切和人議員） 次に、日程第10 議案第9号 高座清掃施設組合監査委員の選任につき同意を求めることについてを議題といたします。組合長の説明を求めます。組合長。

【 組合長（内野 優）登壇 】

◎組合長（内野 優） それでは、日程第10 議案第9号 高座清掃施設組合監査委員の選任につき同意を求めることについてご説明を申し上げます。

本案は、綾瀬市議会の役職改選により、令和7年5月13日から欠員となっております監査委員につきまして、金江大志氏を選任いたしたいことから、地方自治法第196条第1項の規定により議会の同意を求めるものでございます。なお、金江大志氏の略歴につきましては参考資料に記載のとおりでございます。よろしくご審議いただき、ご同意くださるようお願い申し上げます。説明とさせていただきます。

【 組合長（内野 優）降壇 】

◎議長（熊切和人議員） 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（熊切和人議員） 質疑を終結したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、質疑を終結し、討論を省略いたしまして、直ちに採決に入りたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。

これより採決に入ります。本案を原案のとおり同意するに賛成の方の挙手を求

めます。

(挙手全員)

◎議長（熊切和人議員） 挙手全員であります。よって、議案第9号 高座清掃施設組合監査委員の選任につき同意を求めることについては、原案のとおり同意することに決しました。

【金江大志議員 着席】

◎議長（熊切和人議員） 次に、日程第11 議案第10号 令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。次長の説明を求めます。次長。

◎次長兼総務課長（菊地康之） それでは、議案第10号 令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）につきましてご説明申し上げます。

別冊の補正予算書の2ページをお開きいただきたいと存じます。第1表 歳出予算補正でございます。各款項の補正額とその主な内容についてご説明申し上げます。

2款総務費1項総務管理費は339万円の増で、これは総務課職員の人件費について、職員の退職及び海老名市役所への異動等により減額となりましたが、一方で、（仮称）地域交流温浴センター整備に伴う付替え道路工事において、温浴センター建築工事を早期に工事着手できるよう環境を整えるため、当初、令和8年度の発注を予定していた擁壁工事について、令和7年度に前倒しをして増額となったものでございます。

4款衛生費1項清掃費は1,241万6,000円の減で、これは会計年度任用職員の採用による増、施設課から総務課への人事異動、現業職員3名の海老名市役所への異動によることが減額の主な理由でございます。

5款土木費1項都市計画費は8万9,000円の増で、これは令和8年度から供用開始となる本郷ふれあい公園（第二工区）と、既に開園している公園第一工区の運営維持管理を指定管理者により実施するため、指定管理者選定に係る外部委員報償費を計上したことによるものでございます。

9款予備費1項予備費893万7,000円の増は、歳出の差引額によるものでございます。

歳出合計でございますが、額の変更はございません。

次に3ページ、第2表 継続費補正、1 変更でございます。これは（仮称）地域交流温浴センター整備に伴う付替え道路工事において、温浴センター建築工事を早期に工事着手できる環境を整えるため、当初、令和8年度の発注を予定しておりました擁壁工事について、令和7年度に一部工事を前倒しで行うことにより、令和7年、令和8年それぞれ増額となるものでございます。このことによりまして、継続費の総額を7,502万円から1億2,000万円に変更し、年割額を記載のとおり変更するものでございます。

なお、4ページから13ページまでは歳出補正予算事項別明細書、14ページから17ページまでは補正予算給与費明細書になっておりますので、後ほどご高覧いただければと存じます。以上、大変雑駁な説明ではございますが、よろしくご審議いただき、ご決定賜りますようお願い申し上げまして、説明とさせていただきます。

◎議長（熊切和人議員） 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。守谷浩一議員。

◎（守谷浩一議員） 3ページの第2表 継続費補正について伺います。（仮称）地域交流温浴センター整備に伴う付替え道路工事なんですけれども、前倒しすることで総額が7,502万円から1億2,000万円へ増加となるという説明でありましたが、その増額の理由を伺います。

◎議長（熊切和人議員） 参事。

◎参事（平本和彦） それでは、ただいまご質問がございました継続費増額についての理由でございます。前倒しに伴う工事費といたしましては4,498万円計上しております。これは令和6年度に実施いたしました温浴センターの基本設計で、旧事務棟の敷地を約3m切り下げることで施設の敷地を確保する計画としたことによるものでございます。こうなる場合、新幹線を跨線しております海老名市道と旧事務棟の敷地との高低差が生じます。したがって、この高低差を解消する擁壁工事を当初、令和8年度に予定しておりました。しかしながら、付け替え道路工事と一緒に施工したほうが効率的であり、令和8年度からの温浴センターの建設工事へスムーズに移行できるため、擁壁工事などの工事を前倒しするものでございます。

工種といたしましては、海老名市道との高低差が生じることによる擁壁工事、

それから盛土に用いる切土、これを安定処理化することの工事。それから昨今、人件費等が高騰しておりますので、そういった増を見込んでの増額でございます。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 守谷浩一議員。

◎（守谷浩一議員） ご説明ありがとうございます。今の中の話で高低差を埋める話がありましたが、その際の地盤改良などはどのように、ちゃんとやっていくと思うんですけれども、伺いたいと思います。

◎議長（熊切和人議員） 参事。

◎参事（平本和彦） 地盤改良については安定処理工という工法で考えております。どういうふうな形でやるのかということでございますけれども、まずは基本的には、セメント系の改良材をいわゆる盛土に使う切土に攪拌して混ぜて、それで安定化していきたいというふうに考えております。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑はありませんか。上田博之議員。

◎（上田博之議員） 私からもよろしくお願いたします。予算書8ページ、9ページの清掃総務費についてまずお伺いをします。ここでは会計年度任用職員の報酬として566万5,000円の増となっています。15ページの給与費明細書を見ると、会計年度任用職員が4名から7名となっているので、3名の増ということでの補正だと理解をしますけれども、これはどの分野での増なのか、教えていただきたいと思ひます。

次に、同じところで給料がマイナス900万円、職員手当等がマイナス566万9,000円、共済費がマイナス341万2,000円となっていますが、これは逆に職員の数が増ったためだと思ひますが、先ほど海老名市へ戻ったとかいう話もありましたけれども、なぜ減ったのか、何人減ったのかを確認したいと思ひます。どの分野で減ったのかもお願いいたします。

3点目ですが、今の質疑と絡みますけれども、予算書14ページです。これも給与費明細書ですが、職員数が47名から42名に、5名の減となっています。この5名の減の内訳を確認したいと思ひますのでお願いいたします。

最後に10ページ、11ページの公園費のところ、本郷ふれあい公園運営維持管理に係る指定管理者選定委員として8万9,000円が計上されています。選定委員は何名で、誰が委員となる予定なのか確認をします。その場合、男女比も併せて

教えていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

◎議長（熊切和人議員） 次長。

◎次長兼総務課長（菊地康之） ただいまのご質問、4点ございました。人件費のご質問3点について、私のほうからご回答させていただきたいと思います。

まず、報酬566万5,000円増加した理由でございますが、こちらは新たにパートタイム会計年度任用職員を3名採用したためでございます。この3名の分野、職種等でございますが、1名が事務専門員として土木事務のほうに携わっております。その他2名につきましては、一般事務職として事務の補助をしております。

続きまして、給料、職員手当及び共済費、こちらが減少した理由でございますが、海老名市から組合に職員2名が異動しまして人件費が増加したんですが、一方で事務職1名が総務課に異動したこと、また、事務職1名と現業職3名が海老名市に異動したことにより、全体として減少したものでございます。

3つ目、職員数5名減の内訳でございますが、組合から海老名市に勤務することになった職員が5名、新たに海老名市から組合に勤務することになった職員が2名おりますので、差引き3名の減でございますが、3月末で退職した職員が1名と、兼務の発令により1名という部分を合わせまして5名の減というふうになってございます。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 総務課長補佐。

◎総務課長補佐（杉田 徹） 私から、公園運営維持管理に係る指定管理者の選定委員の人数についてお答えさせていただきます。

あくまでも予定でございますけれども、選定委員は7名を考えてございます。このうち学識経験者、社会保険労務士、税理士1名ずつを予定してございます。男女比については特に決めはございません。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 上田博之議員。

◎（上田博之議員） ありがとうございます。まず会計年度任用職員ですけれども、3名増えて7名になるということですが、この7名の男女比も確認したいと思いますのでお願いいたします。

次に、会計年度任用職員以外の職員の中で特に現業で3名減っているというお話がありました。その現業の方のことをちょっとお聞きしますと、水質検査とか内容物検査、最終処分場の維持管理の業務をやっている方が減ったというふうに

聞いているんですけれども、そうすると、この水質、内容物、最終処分場の維持管理、これを今現在何名でやっているのか確認させてください。3名も減ると、これまでと同じレベルでの検査などができなくなっているのではないかと危惧するわけですけれども、検査回数など、その頻度はどうなっているのか、人数が減る前と減った後の検査回数など具体的な数字の報告もいただいて、教えていただきたいと思います。

それから、職員が5名減っているということに関しては、海老名市に異動になったということとか、役職の兼務とか退職ということが報告がありまして、理解をいたしましたけれども、組合の職員数は以前49名ということになっていたのかなというふうに思うんですけれども、そこから見ると7名の減になっています。仕事量が過重になっていないか心配なわけですけれども、職員から勤務の在り方などで声が上がっていないかどうか、お聞きしたいと思います。そして職員の声をごどのような方法で把握しているのかも併せて教えてください。

最後に、指定管理者の選定に関してですけれども、社会保険労務士によるチェックの必要性については先ほども触れましたけれども、そうした中で、選定の委員の中にも社会保険労務士は先ほど入れていただけるというご回答がありましたので、その辺は安心いたしましたということで、その辺はこれで結構です。

最後に、指定管理者の選定に関しての今後のスケジュール感をお聞きしたいと思います。委員をいつ決めるのかから始まって、選定作業をいつ頃行うのか、いつ頃までに選定を終えるのか、現時点のお考えを教えてください。

◎議長（熊切和人議員） 次長。

◎次長兼総務課長（菊地康之） ただいま再質問が4点ほどあったかと思うんですけれども、私のほうから1点目と3点目のご質問について回答のほうをさせていただきたいと思います。

まず、会計年度任用職員7名の男女比でございますが、男性が3名、女性が4名でございます。

また、職員が減少したことによる仕事量の影響や、また、職員からの声の聞き取りについてでございますが、職員数の減少でございますが、一般職の人数で比較しますと7名の減となっておりますが、会計年度任用職員を含めて職員全体で比較しますと1名の減となっております。現在のところ職員数の減少により大き

な影響はございませんが、今後も事務の効率化、業務委託の検討も視野に入れて、来年度以降の人事に向け検証し、今後も適正な人員管理に努めてまいりたいというふうに考えております。職員の声については、まずは職場ごとで打合せなどを行って、そのときに意見などを聞くようにしているところでございます。

◎議長（熊切和人議員） 施設課長事務代理。

◎施設課長事務代理（増田大征） 私のほうから、2点目の現業職員の職場のことについてお答えさせていただきます。

3名減の職場といたしましては、まず最終処分場の管理、あと一般廃棄物収集運搬事業者が持ち込むごみなどの内容物検査、あと水処理施設の運営がございまして。現在従事している者についてですけれども、こちらの職場9名と、あと、まとめる職場、まとめております総括が1名となっております。検査といたしまして、内容物検査の回数といたしましては、3名が異動した後の実績といたしましては、令和7年1月から4月、5月のみになりますので、こちらの2か月を前年度と比較させていただきますと、令和6年度が796台、令和7年度については729台、67台の減になっております。内容物検査の設備は車両1台ずつしか行えないところもありますので、単純な人員減が直ちに検査の台数に影響があるとは考えてはおりません。以上になります。

◎議長（熊切和人議員） 総務課長補佐。

◎総務課長補佐（杉田 徹） 私から、本郷ふれあい公園の指定管理者のスケジュールについてお答えさせていただきます。

本日、本郷ふれあい公園の条例を可決いただきましたら、すぐに募集と委員の選定について決めていきたいというふうに考えております。12月の議会で指定管理者の議決をいただけるように、今後、事務を進めてまいりたいと考えております。以上です。

◎議長（熊切和人議員） 上田博之議員。

◎（上田博之議員） ありがとうございます。まず、内容物検査などの現業のところですが、検査台数に影響するとは考えておりませんということでしたけれども、しかし、67台減ということで、2か月で67台というのは、掛ける6にすると400台ぐらいの減ということになる可能性もありますので、この辺の検査がおろそかにならないように、いろいろな対策を取っていただきたいと思っております。

ので、よろしくお願いいたします。

それからあと、職員の数については、会計年度任用職員などを入れると1名減だけということでご説明がありましたけれども、私としては、やはり日本が不景気に陥っている大きな原因は非正規職員を増やしたことによるということがありますので、そうした会計年度任用職員を増やして、それで取りあえず頭数がそろっているからいいんだよという話にはならないと思いますので、そういった点で、正規の職員をしっかりと確保していくという立場に高座の組合としてもなっていたらいいなと思いますので、その点もよろしくお願いいたします。以上です。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑もないようですので、質疑を終結いたしますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。初めに、反対意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 次に、賛成意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。本案を原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

◎議長（熊切和人議員） 挙手全員であります。よって、議案第10号 令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）は原案のとおり可決されました。

これをもちまして会議を閉会といたします。大変ご苦労さまでした。

（午後4時5分 閉会）

以上は、会議の顛末であるが、その内容に相違ない事を証するために、ここに署名する。

令和7年6月24日

高座清掃施設組合議会議長 熊 切 和 人

高座清掃施設組合議会署名議員 野 田 広 吉

高座清掃施設組合議会署名議員 守 谷 浩 一